



※移植のみ

農林水産省登録 第24567号

水稲用 初・中期一発処理除草剤

アカツキ®

豆つぶ®250

米づくりにも、 希望の 光。

ノビエ

クログワイ

オモダカ



アルテア
(塊茎形成抑制作用)



エフィーダ®
(莖葉白化作用)



フェノキサスルホン®
(ノビエ残効性)

3つの高い除草効果



※商品画像はイメージです。®はクミアイ化学工業(株)の登録商標
アルテアは日産化学(株)の登録商標

- 有効成分：フェノキサスルホン……………8.0%
フェンキノトリオン……………12.0%
メタゾスルフロン……………4.0%

●人畜毒性：普通毒(毒劇物に該当しないものを指している通称)

特長

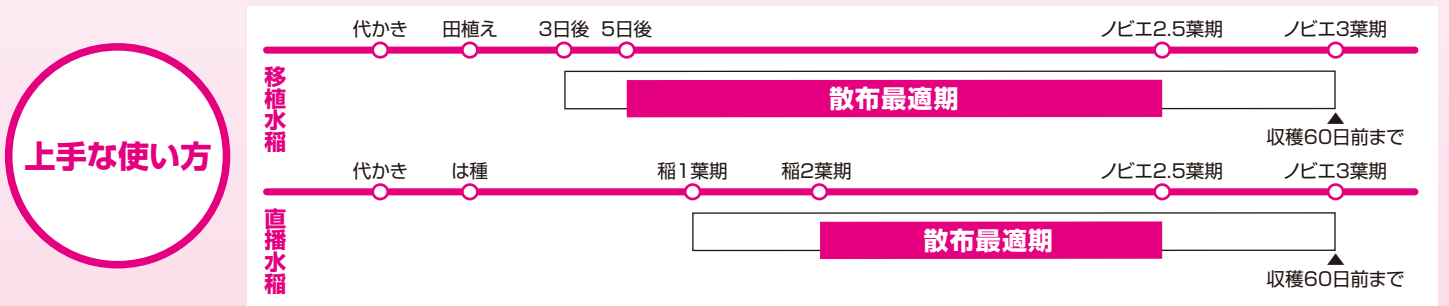
- 有効成分「エフィーダ[®](一般名：フェンキノトリオン)」を配合した3成分の混合剤です。
- エフィーダの作用によりコナギやミズアオイなどの広葉雑草、ホタルイなどのカヤツリグサ科雑草にも高い効果を示します。
- アルテアを配合することにより、クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ、シズイなど難防除多年生雑草に高い効果を示し、地上部だけでなく地下部も抑制します。
- フェノキサスルホンを配合することによりノビエに優れた除草効果と長期残効性を示します。

適用雑草及び使用方法

2023年9月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び多年生広葉雑草	移植後3日～ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで	250g	1回※	湛水散布、 湛水周縁散布、 水口施用又は 無人航空機による散布
直播水稲	一年生雑草及び ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで			湛水散布又は 無人航空機 による散布

※各有効成分を含む農薬の総使用回数：フェノキサスルホン2回以内、フェンキノトリオン2回以内、メタゾスルフロン2回以内



使用上の注意

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。ホタルイ、ヘラオモダカは3葉期まで、ウリカワは2葉期まで、オモダカは矢尻葉1葉期まで、ミズガヤツリ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは草丈10cmまでヒルムシロは発生期まで、セリは再生期までが本剤の散布適期です。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないため、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 苗の植付けが均一となるように、代かき及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 散布の際は、やや深めの湛水状態(水深5～6cm)にして水の出入りを止めてください。
- 湛水散布の場合は田面に散布し、また、湛水周縁散布の場合は、水田周縁部に沿って帯状に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 水口施用の場合は、あらかじめ1～2cm程度水深を確保した状態で、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態(水深3～5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水がふれ出ないよう注意してください。散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 薬液・表層はく曇などの水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため、水田全面に散布してください。
- 水口に対して向かい風が吹いている場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため水口施用をさけてください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるため使用をさけてください。

- 異常高温の時、あるいは散布後数日以内に梅雨明けになるなど異常高温が予想される時
- 活着遅延を生じるような異常低温の時
- 砂質土壌の水田および漏水田(減水深2cm/日以上)
- 軟弱苗を移植した水田
- 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
- 種穴の戻りの悪い水田
- 直播水稲に使用する場合は以下の点に注意してください。
- 稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
- 除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布してください。
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけてください。
- 吸湿性があるため、散布時に降雨の場合には濡れないように注意して散布してください。濡れた手で扱わないでください。また、開封後は早めに使用してください。
- 無人航空機で散布する際は以下に注意してください。
- 湛水散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
- 専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
- 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置の開度を調整してください。
- 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、ほ場の端から5m以上離しては場内に散布してください。
- 水溜池、飲料用水などに飛散、流入しないよう十分に注意してください。
- 散布した水田の田面水を他の作物の灌水に使用しないでください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるため、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。

- いぐさ栽培予定水田では本剤を使用しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合は、異常気象の場合には、病害虫防除等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

安全使用上の注意

- 眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は保護メガネ、農業用マスク、手袋、長スボン、長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼うがいをするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人取扱いは十分に注意してください。
- 水産動植物(養殖)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 保管：密封し、直射日光を避け、食品と区別して、涼乾燥した場所に保管してください。

詳しい使い方、登録内容とSDSはこちらから。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2023年9月現在の知見に基づき作成しています。 2302(23-9)